

令和

6

年度

事業者番号0462事業所番号046201

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉県大久保浄水場		
事業所所在地	市区町村	さいたま市桜区	
	字・地番	大字宿618番地	
産業分類名（中分類）	36 水道業		
分類番号（中分類）	36		
事業活動の概要	事業内容	事業内容 水道用水供給事業及び工業用水道事業 従業員数 92名 送配水量 年間289百万m3	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第3計画期間】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	267,880	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	66,970	t-CO ₂	事業所区分	第2区分	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	23,773	23,357	23,319	22,468	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	47,027	46,172	46,125	44,441	
前 年 度 比 （ % ）	—	-1.8	-0.1	-3.7	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ふ っ 化 い お う				
	三 ふ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		47,027	46,172	46,125	44,441

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.1561	0.1536	0.1529	0.1538	
前 年 度 比 （ % ）	—	-1.6	-0.5	0.6	
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
生産量	千m ³ /年	301,192.58	300,608.63	301,738.34	288,869.28

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	場内工事の影響により令和2年度は令和元年度に比べ送水量が減少したため、排出量が減少した。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	4月に昇降機棟が追加された。令和3年度も令和2年度に比べて送水量が減少したため排出量が減少した。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	効率的なポンプ運転を行うことができたため、令和3年度と比べ送水量が増加したが、排出量は微減となった。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	前年度より送配水量が約4.3%減少したため、CO2排出量は減少したが、原単位は微増した。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	66,970	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO₂）

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量等	基準排出量(A)	66,970	66,970	66,970	66,970	66,970	334,850
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 ($C = \sum A - D$)						267,880
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)						66,970
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	47,027	46,172	46,125	44,441		183,765
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	29.78%	31.06%	31.13%	33.64%		—
	排出削減量 ($G = A - E$)	19,943	20,798	20,845	22,529		84,115
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	未実施		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
1	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高圧ポンプ設備VVVF化(回転数制御)		R1以前	6,999.0
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具の高効率機器の導入		R1以前	7.7
3	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高圧ポンプ設備VVVF化(回転数制御)		R1以前	902.0
4	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	西部系フロキュレータ設備の更新に伴う、電動機の小容量化	R5	R5	288.0
5	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	中央系送水圧力の低減	R5	R5	2,632.0
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率空調への更新	R6		7.6
7	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	西部系送水圧力の低減	R6		
8	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	中央系送水管路制水弁の全開化	R6		
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	外灯のLED化	R5	R5	2.0
10	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	太陽光発電設備の設置	R7以降		18.0
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

